

# 令和3年度 作物栽培管理情報第1号

令和3年4月発行

大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

## 2. 令和3年産水稻 3. 田植から中干し期までの管理作業

### 1) 防除 ～栽培期間前半の病害虫・雑草対策を確実に行いましょう！～

#### (1) 病害虫対策

①箱苗施薬：苗箱の上から均一に散布（田植2～3日前の散布がより有効）

②田植同時：指定の散布機を用い、圃場に散布

※JA等から苗を購入した場合は、本田防除を発生に應じ的確に行いましょう！

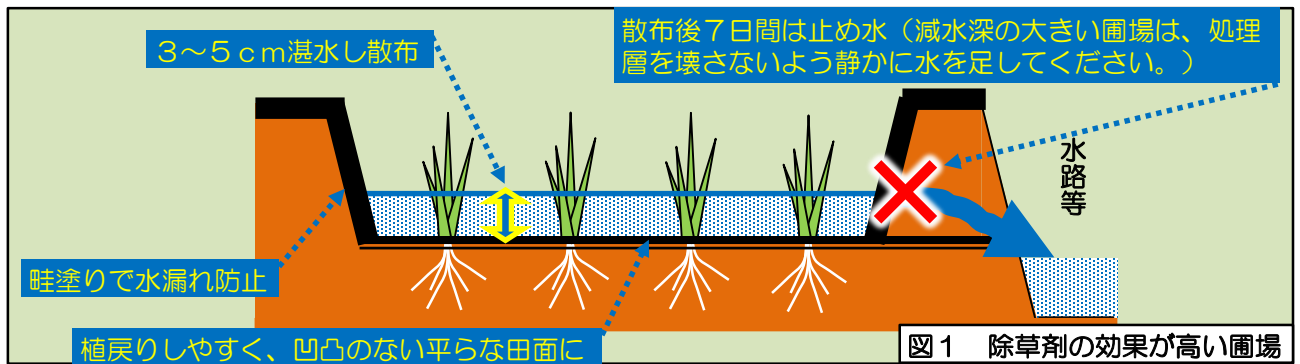
#### (2) 除草剤散布

①田植前後：田植前の除草剤は、植代後から田植前7日までに散布

田植後は天候に注意し、速やかに散布（遅れるほど効果も低下）

②田植同時：指定の散布機を用い、圃場に散布（植戻りの悪い圃場は避ける）

※補植は踏込により除草剤の処理層を壊し、雑草の多発を招くため避けましょう！



▶ポイント 農薬使用上の注意を確認し、定められた量を適切に散布しましょう。

### 2) 施肥 ～施肥量が足りないと、生育不足により収量・品質低下の原因に～

①基肥のみ：窒素4kg/10a（適期の穂肥施用を忘れずに）

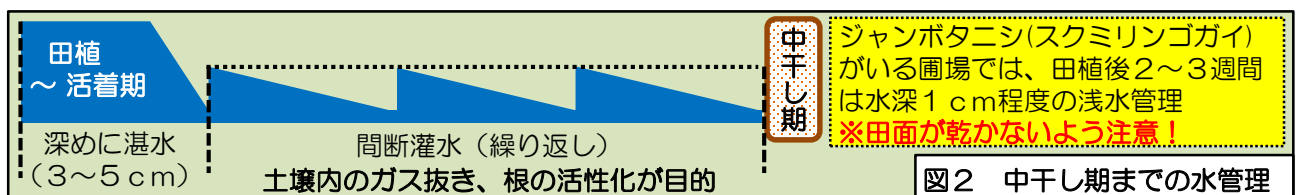
②一発施肥：窒素7kg/10a（これ1回で栽培期間中の肥料全部）

▶ポイント 栽培暦を参考に、適切に施用しましょう。

### 3) 水管理 ～田植後の湛水は、活着期までで終了～

①田植後～活着期：深めに湛水（ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）がいる圃場は浅水に）

②活着後～中干し期：間断灌水（浅めに湛水し、自然落水後に田面が見え始めたら再び浅めに湛水 ※間隔は圃場の減水深に左右されます）。



▶ポイント 適切な水管理により、病害虫・災害に強い水稻を育てましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html>